

同 球 生 へ

～サッカー経験者をスタジアムに向かわせるキャンペーン企画～



応募 ID 7521D86BE2

【ターゲット】

サッカー部出身者

サッカー経験者、

それも中学高校時代サッカー部に所属していた人たちは、
社会人になってもサッカーに対しての
興味は残っているはずです。

ワールドカップなど、

大イベントではひと際大きな関心を抱いていたでしょう。

しかし、日常的に開催されているJリーグには、なかなか参加しない。

というより、特別な機会がないと、

なかなか参加できないというのが本音なのかもしれません。

彼らが参加する特別な機会をつくりだします。

「スタジアムでの同窓会」を提案します。

小学校や中学校、高校で一緒に戦った仲間ともう一度集まってみたい。
キツイ練習の思い出、勝った試合の嬉しさ、負けた後の悔しさなど、
輝く青春時代の思い出を語り合いたい、と考えている人は少なくないでしょう。

彼らに「同窓会」という特別な機会をつくりだすことで、
スタジアムに足を運ぶ理由を生み出します。


「あいつ、元気してるかなあ」

「サッカー、やってるかなあ」


「でも、なかなか会う機会いがないもんな」

「そうだ、一緒にサッカー観戦に誘ってみよう！」

そんな会話が生まれることを期待しながら。



同
球
生
へ



たまには、
サッカーでも
観ながら
話しませんか？

のほろより



WEB やスタジアムで、企画応募者がプロジェクトに申し込みをします。

応募者が登録した同球生にカードが届きます。

カードには QR コードや、ログインパスワードなどは明記されており、プロジェクトに参加人数が規定以上で成立。

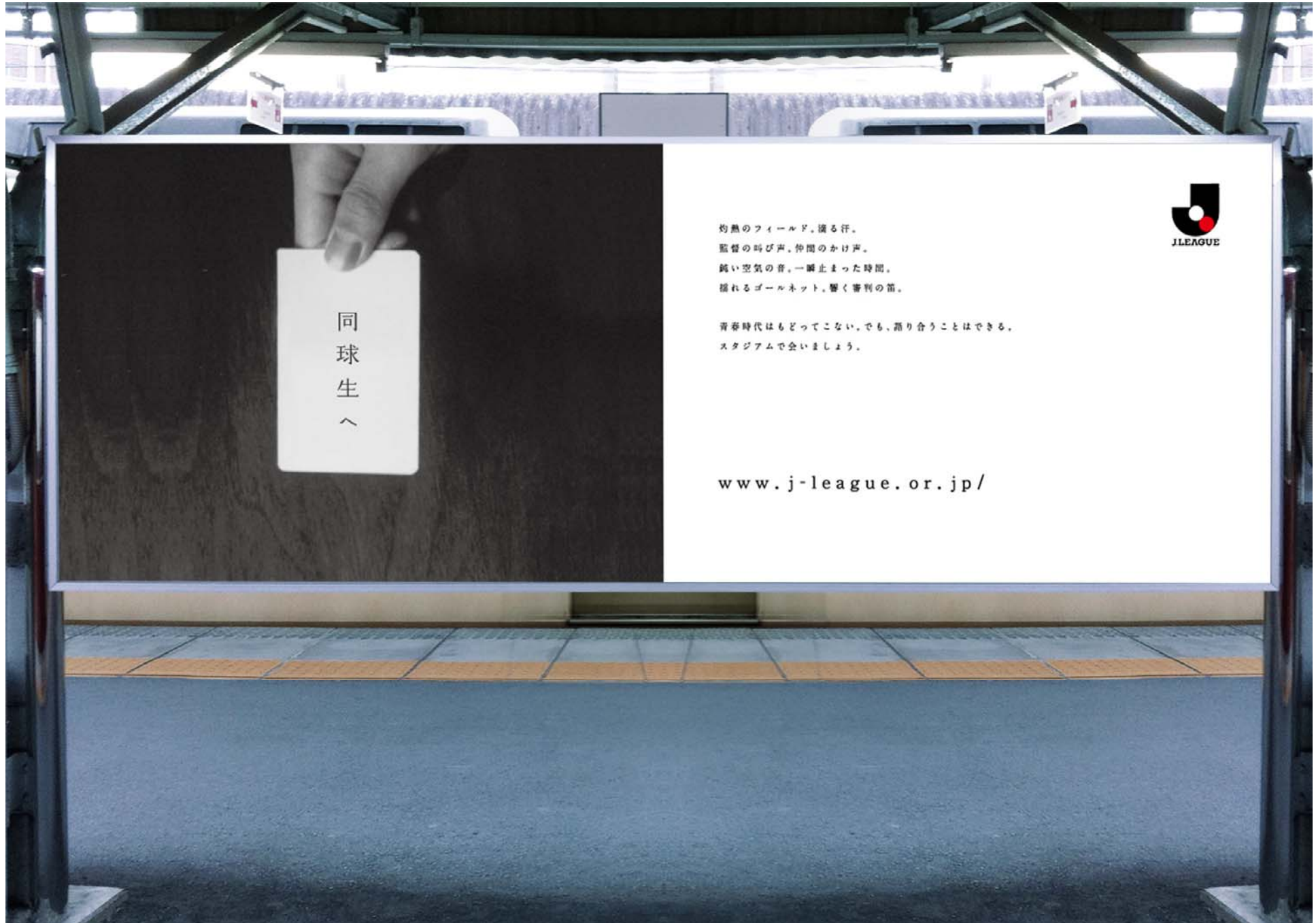
観戦可能な日付と場所を HP で選び、予約完了。

そして試合当日、全員が観戦チケットを半額で購入可能になります。

カードを持って入店できる飲食店やテーマパークを用意します。

スタジアムで観戦後に、さらに一般的な同窓会も開催させるような流れを利用できる仕組みを作ります。これによって、スタジアム周辺のお店の活性化も狙い、「サッカーを見ながらの同窓会」から、少しずつですが地域への関心も高めていければと考えました。

【広告表現案】



同
球
生
へ

灼熱のフィールド。流る汗。
監督の叫び声。仲間のかげ声。
鈍い空気。一瞬止まった時間。
揺れるゴールネット。響く審判の笛。

青春時代はもどってこない。でも、語り合うことはできる。
スタジアムで会いましょう。



www.j-league.or.jp/

灼熱のフィールド。滴る汗。

監督の叫び声。仲間のかけ声。

鈍い空気の音。一瞬止まった時間。

揺れるゴールネット。響く審判の笛。

青春時代はもどってこない。でも、語り合うことはできる。

スタジアムで会いましょう。